

讃州井筒屋敷を拠点とした 歴史ある引田まち並み

香川県東かがわ市

引田まち並み保存会

引田のまち並みは、かつて引田港が海上交通の要所であったことから商業が発展し、江戸時代から醤油・酒醸造業を営む佐野家（屋号井筒屋）を中心として形成されました。長い年月を経て、荒廃が顕著になった井筒屋敷は、取り壊しとなる予定でしたが、平成13年に歴史的価値のある井筒屋敷を保存してまちおこしに繋げようと、「引田まち並み保存会」の前身である「町並み景観保存運動世話人会」が結成されました。井筒屋敷の保存を要望する嘆願書を引田町（現東かがわ市）へ提出したところ、市の取得によって改修されることになりました。

現在の「讃州井筒屋敷」は、町並み散策の休憩場所のほか、地魚を使った食事の提供、特産品の販売、地場産業の体験ができる観光拠点としても活用されており、ボランティアガイドとして保存会の会員が常駐しています。この他にも、空家の

持ち主と利用者との斡旋や登録有形文化財の発掘及び登録申請、引田地区の歴史勉強会の開催、地元出身者の顕彰等を行っています。

平成15年から開催している「引田ひなまつり」は、当会が中心メンバーとなる実行委員会が主催となって、今年で11回目を迎えます。現在は保存会の会員以外の住民も実行委員会に加わり、地域一体となった取り組みに発展しています。

平成24年2月には、近畿・中国・四国地方から11団体が参加し、第1回瀬戸内ひなまつりサミットが東かがわ市内で開催されました。最近では、更なる地域の魅力向上のため、引田の歴史・文化を再確認するための勉強会「風の湊会」を開催しています。地形、文化財、港の歴史、引田城址、特産物と多岐にわたり、勉強会の成果は記録集として発刊し、市内市外に引田の歴史・文化の魅力を発信しています。



観光拠点として整備された「讃州井筒屋敷」



旧郵便局を国の有形文化財に登録



「引田ひなまつり」民家に飾られた雛人形



「引田ひなまつり」地域の子供達が参加



引田の魅力向上勉強会「風の湊会」の開催



保存会によるボランティアガイド

- ◆所在地
香川県東かがわ市引田2163
- ◆活動内容
ボランティアガイド（随時）、
引田ひなまつり（年1回開催）、勉強会「風の湊会」 など
- ◆活動主体及び連絡先
引田まち並み保存会（0879-23-8550）（讃州井筒屋敷内）
※功労者名：山田 和弘（引田まち並み保存会 顧問）
- ◆対象となる社会資本
讃州井筒屋敷と引田の町並み

